

自然教室チームだより 帯解小学校

昆虫観察会 実施報告

「おばちゃん！バッタを捕まえたよ！虫かご持ってきて！早く早く！」「おっちゃん！ザリガニやカエルがいるよ！捕まえてもいい？」

元気な子供たちの声が休耕田や畦道のほうぼうから聞こえました。

9月24日(火)心配していた雨に降られることもなく、帯解小の昆虫観察会を実施することができました。児童27名に加え、サポーターの方々12名に参加していただき、初めての校外観察会となりました。

子どもたちはそれぞれ捕虫網を持ち、バッタやチョウ、テントウムシ、カマキリなどの捕獲に夢中になって挑戦しました。中には溝に落ちる子、こける子などもありましたが、それぞれ元気いっぱいでした。



昆虫採集が終わってからは図書室で収穫した昆虫の種類や数を班対抗で披露しあいました。

そのあとは昆虫を巡る楽しいクイズです。幼虫の眼はどこにあるかなどびっくりするような問題の連続で、これも班対抗で競い合いました。

子供たちの感想はみんな「昆虫採集が楽しかった」、「クイズが面白かった」といったものでしたが、主催者の皆さんも「子供たちが身近な自然に触れるとても良い機会だ」「虫を手で触らせる機会を是非増やしたい」といった感想でした。

こうした昆虫観察会がいろいろな小学校でできるようにすると良いのになと思った一日でした。

(倉田 晃)

『秋のめぐみだ！お伊モをほろう！』

ならやまの探検と芋ほり大会

10月18日(土)、台風一過、雲一つない秋晴れに恵まれ、恒例の芋掘り大会がならやまベースキャンプにて開催されました。今年は、午前に「ならやま探検」と「昆虫クイズ」を取り入れ、



ならやまの秋の自然を肌で感じて貰い秋のめぐみを実感して貰いました。

参加児童は、佐保台小学校の子供達を中心に1年生から5年生までの生徒28名。保護者、当会スタッフを含めると総勢91名の人が、ここならやまに集いました。

ならやま探検前後に実施された「昆虫クイズ」では当会の菊川さんがならやまに実際に撮影した昆虫の写真が使用され迫力満点。子供達も目を輝かせてクイズに興じてくれました。



「ならやまの探検」ではナラ枯れの状況をカシノナガキクイムシの実物と写真を添え説明。途中のポイントでは「松ぼっくりの玉入れ」で遊び「森のお話」を聞いて自然を守る事の大切さを感じてくれました。

午後からは楽しい芋掘り大会。各班に分かれて芋のつるの長さ、芋の大きさ、変わった形を競いました。ツルの長さ5.75m、重さは2.08kg、変な形はオットセイの様な形が1位を獲得し、全員に行き渡るように金ドングリ、銀ドングリ、銅ドングリと磨いたドングリの景品が配られました。

安全第一にみんなで楽しくをモットーに実施したイベントは、みんなの笑顔と満足そうな顔で幕を閉じました。「来年もまた有るの?」と聞いてくれた子供達の言葉でこちらの心も満たされました。



御協力頂いたスタッフの皆様、お疲れ様、本当に有難うございました。

安全第一にみんなで楽しくをモットーに実施したイベントは、みんなの笑顔と満足そうな顔で幕を閉じました。「来年もまた有るの?」と聞いてくれた子供達の言葉でこちらの心も満たされました。

御協力頂いたスタッフの皆様、お疲れ様、本当に有難うございました。

(辻本信一)